



加監発第64号
令和3年3月9日

加須市長 大橋良一様
加須市議会議長 柿沼秀雄様
加須市教育委員会教育長 渡邊義昭様

加須市監査委員 秋本政信

加須市監査委員 栗原 肇

令和2年度定期監査の結果（学校監査）について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、及び加須市監査基準に準拠し、定期監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果を別添のとおり報告します。

令和2年度学校定期監査結果報告書

第1 加須市監査基準に準拠している旨

監査委員は、加須市監査基準（令和2年加須市監査委員告示第4号）に準拠して監査を行った。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

第3 監査の対象学校

- (1) 加須小学校
- (2) 加須南小学校
- (3) 田ヶ谷小学校
- (4) 鴻荃小学校
- (5) 高柳小学校
- (6) 豊野小学校
- (7) 加須北中学校
- (8) 騎西中学校

第4 監査の着眼点（評価項目）

市立の小学校及び中学校の事務に関して関係法令が遵守されているか、また、備品の管理やその他校長の権限に係る財務等に関する学校事務の執行が適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、監査を実施した。

第5 監査の期間

令和3年1月6日～令和3年2月19日

第6 監査の実施内容

令和2年度（1学期及び2学期）の学校経営状況や主要業務等に関する事務の執行状況等について必要な資料及び関係書類の提出を求め、監査委員が各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取するとともに、学校施設の現況を確認した。

第7 監査の結果

学校経営状況や財務等に関する学校事務の執行については、おおむね適正かつ効率的に運営されていることを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は次のとおりである。

1 総括的事項

学校経営に係る事業の管理については、各学校とも、加須市人づくり宣言をはじめ加須市人づくりプラン等を念頭に、学校規模、校風や児童・生徒、地域の実情等を把握された上で目指すべき学校像を定め、それらの実現に向けて各種取組事項を掲げた学校グランドデザインを明確に定めていた。

その経営・運営に当たっては、校長のリーダーシップの下、教職員間の情報の共有化が図られており、また、保護者や学校評議員をはじめ連携している地域の方々に対しても、共通理解を図りながら行われている。

なお、全体の学校経営・運営状況及び個別的事項は、次のとおりである。

2 学校経営・運営状況について

(1) 組織について

校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

また、教職員の約半数が異動をしている学校もあるが、日ごろから教職員間の情報の共有化が図られるなど組織体制の強化に取り組まれている。

さらに、コロナ禍においても、常に児童・生徒の立場を第一に考え、教職員の協議の下、新型コロナウイルスに感染させない中で思い出に残るイベント等の実施に努められている。

(2) コロナ対策について

今回の監査対象校の児童・生徒の総数は1,862人であったが、その中で新型コロナウイルスのり患者は1名であった。

これは、コロナ対策について市教育委員会と連携を図り、また、各学校においても徹底的にコロナ対策を実施した成果が現れている。さらに、スクールサポートスタッフの配置について、各学校とも感謝の声が多かった。

なお、小学校高学年のクラスでは、教室の広さと児童数との関係で、多少密状態と見受けられるところもあった。

また、学校からはPCR検査キットの配布を希望する声もあった。

(3) GIGAスクール構想への対応について

各学校とも普通教室への無線LAN工事や充電収納庫、大型モニター等の環境整備は概ね終了している。また、児童・生徒の使用する端末についても全て2月中には納品が完了する予定となっていた。

監査時においては、市教育委員会主催の研修のほか、教職員同士の意見交換等を通して活用方法の検討が行われていた。

現段階では、タブレットを活用した授業内容を模索中であったが、日常の活用

より早く当該機械に慣れることが最も重要となっている。

また、大型モニターが整備されたことから、教科書のQRコードを読み取って授業に活用している学校もあった。

今回の監査において、加須南小学校では実際に授業で使用しているところを視察できたが、画面の文字がやや小さいところが懸念された。

なお、特別教室やオープンスペース、体育館でも無線LAN環境が整備されると活用の機会が増えるのではないかとの意見が聞かれた。

※GIGAスクール構想：1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、学校教育の良さと最先端のICT技術により、子どもたちの能力を最大限に伸ばすことを目的とした取組。

Global and Innovation Gateway for Allの頭文字をとっている。

(4) 地域との連携について

学校応援団活動について、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、その活動が大幅に制限・縮小されていた。しかしながら、登下校の見守りなど児童・生徒の安全を確保する取組については引き続き全学校で行われていたほか、樹木剪定等についても協力をいただいている学校が多かった。

各学校とも新型コロナウイルスの影響により、学校応援団の方々と児童・生徒が触れ合う機会が大幅に減少し、従来とは異なる状況が続いていた。

なお、学校応援団等の高齢化が見られることから、新たな人材の発掘が望まれるところである。

※学校応援団：学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織のことで、平成17年度から埼玉県教育委員会が取り組み始め、平成28年度には埼玉県内全ての小・中学校で学校応援団が設置されている。

(5) 災害時の対応及び防災対策について

各学校とも災害別の危機管理マニュアルを整備し、様々な災害や不審者を想定した避難訓練が実施されている。今後も、災害時等に児童・生徒の命を守るため、継続的に工夫のある取組を実践されたい。

なお、令和元年の台風第19号の影響を踏まえ、洪水(水害)時の避難計画及びそれらの訓練に各学校とも力を注いでいた。

(6) 予算執行状況(歳出)について

配当された学校管理費については、令和2年12月末時点で70%から85%の執行率であり、おおむね計画的に執行されていた。

また、新型コロナウイルス対策の補正予算関係では、アルコール消毒液やマスクの購入のほか、密を避けるための大型備品類の購入も行い、学校現場で大いに活用されており、その執行率は概ね90%以上であった。

なお、樹木の剪定予算が約10万円であり、各学校とも樹木の剪定に苦慮している状況となっていた。

(7) その他学校経営において参考となる事項について

例年は資源回収に取り組んでいる学校でも、今年度は中止や回収方法の変更を行ったことから、その収益金が大幅に減っていた。

3 各学校の個別的事項について

加須小学校 児童数437人（学級数12学級+特別支援学級数4学級）

(1) 学校概要等

- ・学校からの情報発信をホームページだけでなく、紙に印刷するなどしてきめ細かく行っている。見守りをしてきている地域の方々への情報発信も行われていた。
- ・1学級に39人となっている教室もあり、全体的に多少密状態となっている。
- ・コロナ対策等の対応方針を2週間クールで見直しながら取り組んでおり、学校休業の影響による授業時間の確保のため、15分ごとのモジュール授業を朝に組み入れている。
- ・特別支援学級のほか、発達障害・情緒障害の通級指導教室がある。

(2) コロナ対策について

- ・り患者数は児童、職員とも0名である。
- ・臨時休業中の登校日等では、靴箱を利用した文書配布など接触機会を減らす工夫を行った。また、双方向通信システム(ZOOM)での通信テストを行い、実際に行動制限中の児童のオンライン健康観察を行うなど、児童・家庭の安心を得る取組を実施している。
- ・スクールサポートスタッフや学習補助員の配置で、児童の安心、職員の負担軽減が図られている。

(3) GIGAスクール構想への対応について

- ・校内の環境整備は終了し、全員分の端末も2月1日に納品される予定となっていた。
- ・令和3年度デジタル教科書実証事業へ5・6年生の理科で参加することとなっている。
- ・通信テストを兼ねて、6年生の薬物乱用防止教室をオンラインで実施する予定となっている。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長が10名おり、その選出は各町内会となっている。また、学校応援団はあいさつ見守り127名、学習支援他9名が登録され、ふれあい推進長室がある。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の活動は制限されているが、登下校の見守りは例年どおり実施している。
- ・昭和中学校区の4校(昭和中、加須小、加須南小、三俣小)でリンクミーティングを立ち上げた。
- ・運動会については保護者の人数制限を行い、2学期に半日で行った。

(5) 災害時の対応等について

- ・洪水時の避難確保計画を策定するとともに、広域避難所としての開設訓練を実施した。
- ・年3回の避難訓練は、いつもと時期は異なっているが実施している。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、校長・教頭・事務の三者による適正な予算管理を行っている。
- ・コロナ対策の補正予算で消毒液のほかテント5張、拡大印刷機等を購入した。
- ・南校舎、西校舎の老朽化によるメンテナンス費用が増えてきている。

加須南小学校 児童数211人（学級数7学級+特別支援学級数2学級）

(1) 学校概要等

- ・学校教育目標に「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」を掲げて、地域とともに歩む、笑顔あふれる活力ある学校づくりを行っている。
- ・生徒数は211人で、平成10年に加須小学校から分離新設した時の476人がピークで、その後は毎年減少している。
- ・4年生以上が1クラス30人後半の人数のため、教室内が多少密になっている。
- ・みなみ保育園と加須幼稚園から南小学校に入学する児童が多いため、これらの園との交流を行っている。
- ・県費の教職員が15人いるが、令和2年度は約半数の8人が異動で入れ替わった。臨時任用が3人おり、担任を持っている人もいる。
- ・校歌について、作詞は谷川俊太郎先生、作曲は鈴木邦彦先生で、初代校長がつてをたどってお願いをしたと聞いている。

(2) コロナ対策について

- ・り患者数は児童、職員とも0名である。
- ・基本となる手洗い検定を行っている。
- ・8月からスクールサポートスタッフが午後來てくれるようになり、トイレ・流しの清掃と階段手すり・特別教室の消毒を行っている。スクールサポートスタッフは、学校には何かと個人情報もあるので、安心できる方をお願いしている。

(3) GIGAスクール構想への対応について

- ・令和2年12月16日に全児童分の端末が納品され、令和3年1月8日に全児童がログイン設定を行った。現在は、子どもたち、教職員とも端末に慣れるようにしているところであるが、できるだけ授業で使うようにしている。
- ・令和3年1月25日に全クラスの授業でパソコンやタブレットを活用した授業を公開した。
- ・普通教室以外ではWi-Fiが使えないので、特別教室やオープンスペース、体育館でも使えるようになれば活用がさらに広がるとの意見があった。
- ・令和2年6月にiPadが40台入っている。これはGIGAスクールとは全く別に、地域の方からの寄附で、データ通信SIMも入っているため、校外での調べもの学習などに使用している。

(4) 地域との連携について

- ・学校応援団は45名登録されている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の活動は制限されていることから、子どもたちとの交流はほぼ行われていない。各地域からふれあい推進長6名が学校に来て集まる専用の部屋があり、例年であればお昼ご飯を子どもたち(班で10人くらい)と一緒に食べているとのことであった。
- ・学校の環境整備や登下校の見守りは行っている。
- ・学校の出入り口に門がなく、学校の周りはフェンスではなく生垣になっている。生垣を竹で補強するなどをふれあい推進長を中心に学校応援団で行っていただいている。

(5) 災害時の対応等について

- ・年4回の避難訓練を実施しており、11月には児童の保護者への引き渡し訓練も行っている。
- ・令和元年の台風第19号の時は避難所として受け入れを行った。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。

- ・コロナ対策の補正予算で消毒液のほか非接触体温計や密を避けるためのマイク・体育マット等を購入した。

田ヶ谷小学校 児童数180人（学級数6学級+特別支援学級数1学級）

（1）学校概要等

- ・生徒数は180人で、1年生から6年生まで各1クラスとなっている。
- ・大規模改修費用は約7億円で、7月から11月まで工事を行ったが、臨時休校があった関係で、夏休みの時期にも授業をやらなければいけない状況であったことから、地域の行政区や体協の方々に協力をしていただき机等を田ヶ谷総合センターに移動させ授業を行った。
- ・子どもたちがお礼を言う機会を設けるため、11月に行った運動会へ手伝っていただいた方に来てもらい観てもらった（一般参観は禁止）。
- ・聞く姿勢を重点的に指導し、「できた」「わかった」という授業が行えるようにしている。
- ・校庭が4カ月間、改修工事の関係で使用できなかったが、体力向上できるように努めていた。
- ・今年度は、前半は「大規模改修をきちんと進める」、後半は「道徳教育を重点に行う」としている。
- ・田ヶ谷小学校の土俵については、38年前の学校改修の時（現在の校舎建築）の残土で土俵を作っている。

（2）コロナ対策について

- ・り患者数は児童、職員とも0名である。
- ・アルコール消毒、毎日の検温等の実施を行っている。
- ・スクールサポートスタッフがコロナ対策で来ていただき、トイレ掃除や終業後の除菌などを行っている。
- ・1月18日から歯磨き、冷水機の使用を中止した（都営地下鉄の集団感染への事例を踏まえて）。

（3）GIGAスクール構想への対応について

- ・校舎内の環境整備（大型テレビやWi-Fi環境、充電収納庫等）は終了した。
- ・端末は2月中旬に入る予定となっている。
- ・活用の方法はまだ決まっていない状況であるが、校内研修を充実させ有効活用に向け取り組む予定となっている。

(4) 地域との連携について

- ・学校応援団は107名登録されている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動がかなり制限されているが、登下校の見守りは今までどおりに行っていた。また、梨やイチジク農家見学や体験活動などには感染予防対策を行い実施した。
- ・地域の方々の協力により、大規模改修に伴う田ヶ谷総合センターへの引っ越し作業を実施した。

(5) 災害時の対応等について

- ・広域避難を想定し、大規模改修の時に工事車両の校庭への出入口に使っていた所をフェンス復旧ではなく、門を付けて校庭を災害時に駐車場として利用しやすくした。(令和元年の台風第19号の時は約300人の避難者を受け入れたが、校庭への動線がなく車を校庭に入れられなかったため、周囲に大変な混雑をもたらしてしまった。)

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・今年度は大規模改修があったため、修繕費についてあまり執行せず、また、プールも使用しなかったため、例年に比べて10%以上執行率が低くなっている。
- ・樹木の剪定について約10万円の配当となっているが、足りない状況となっている。

鴻荃小学校 児童数105人(学級数6学級+特別支援学級数2学級)

(1) 学校概要等

- ・生徒数は105人で、1年生から6年生まで各1クラスとなっている。
- ・本年度の指導重点に「3つの合い」を掲げている。
 - ①生きる力を支える学び合い
 - ②地域密着の支え合い
 - ③児童の確かな成長を感じられる(教員にも働き甲斐のある)伸ばし合い
- ・8月24日から、学習指導員(臨時休校による学習時間確保のための学習補助をしてもらっている)やスクールサポートスタッフ(終業後の教室等の除菌サポートやトイレ清掃)が配置された。
- ・今年の1年生は9人と少なかったが、来年度は19人の予定で、今年だけ特に少なかった。
- ・鴻荃小学校の余裕教室に学童保育室を入れるための改修工事を行っている(現在は旧鴻荃幼稚園で学童保育を行っている。)

(2) コロナ対策について

- ・り患者数は児童、職員とも0名である。
- ・対策マニュアルを作成し、保健指導の徹底、部屋の換気、校内消毒を実施している。
- ・保健室の他に会議室も使ってゾーニングをして、怪我と発熱等を分けている。

(3) GIGAスクール構想への対応について

- ・校舎内のWi-Fiは工事中であり、端末は2月下旬に入る予定になっている。
- ・大型テレビが整備されているので、教科書のQRコードを読み取って授業に活用し始めている。

(4) 地域との連携について

- ・学校応援団は31名登録されているが、高齢化が進んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業は減っているが、登下校の見守りや樹木剪定等を実施している。

※地域の方が所有する高所作業車を使用した伐採も行われている。

(5) 災害時の対応等について

- ・新型コロナウイルス対策や洪水時避難場所確保について危機管理マニュアルに追加した。
- ・洪水時の避難確保についての研修を今年度新たに行っている。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・新型コロナ関連予算として補正予算で小学校健康推進事業予算が配当されたことから、消毒液や清掃用品の購入の他、大型冷風機や空気清浄機、CDプレーヤー(拡声器としても使用可)等の購入を行っている。
- ・校舎の老朽化のため、トイレの修理や出入り口の不具合等で頻繁に修理をしている。

高柳小学校 児童数170人(学級数7学級+特別支援学級数1学級)

(1) 学校概要等

- ・生徒数は170人で、市内22小学校中14番目の規模であるが、教職員は市内で2番目に少ない学校となっている。
- ・長期休校の影響から、夏休みの短縮やモジュール授業の実施、高学年の7時間授業、行事の見直しを行い、2学期半ばで学習進度の遅れをほぼ解消している。
- ・運動会も種目を絞って開催し、また、宿泊を伴うものは中止となったが、日帰りで6年生は川越に、5年生は森林公園に行った。

- ・10回の学校だよりの発行に加えて、ホームページで約116回の情報発信を行っている。
- ・授業参観は3グループに分けて3時間の授業に分散して実施した。
- ・児童アンケートの結果、学校が楽しいという回答がとて多くなっている。

(2) コロナ対策について

- ・り患者数は児童1名、職員0名である。
- ・保健室の他に発熱等の対応として会議室を第2保健室とした。
- ・新しい学校の生活様式が徹底されてきている。
- ・高学年の教室では、教室の広さと児童数の関係から多少密な状況となっている。

(3) GIGAスクール構想への対応について

- ・校舎内のWi-Fi、保管充電箱、大型モニターなどの環境整備は終了している。
- ・通常授業での活用のほか、臨時休校時におけるオンライン授業の実施等についても研修を実施していくこととしている。
- ・教職員の活用能力と稼働率の向上が課題となっている。

(4) 地域との連携について

- ・学校応援コーディネーターとして10名いる。
- ・登下校の見守り活動や樹木の剪定・消毒等の環境整備を実施している。
- ・さつまいも植え及び収穫体験や田植え稲刈り体験を実施したが、そば作り体験、琴体験等について本年度は中止となった。

(5) 災害時の対応等について

- ・年4回の避難訓練を実施している。
- ・令和元年の台風第19号の時は多くの方が避難してきており、水害時の避難場所運営実地研修も行っている。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・研究授業が予定されていたので、体育関係の備品(跳び箱やマット)を増やした。
- ・新型コロナウイルス補正予算で接触回避、ソーシャルディスタンスの確保のため、図書館システムやテントの購入を行った。

豊野小学校 児童数107人（学級数6学級+特別支援学級数1学級）

(1) 学校概要等

- ・生徒数は107人である。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、事業が大幅に変更になるとともに、給食時は無言給食を行っている。また、運動会も例年は地域と合同で行っているが、今年度は学校単独で開催(10/15)している。
- ・資源回収について、回収箱を置くだけにしたためかなり少なく、今年は7万円位となっている。
- ・教育協力費ということで、1世帯につき500円、500～600世帯あるので25万円～30万円の協力を受けている。
- ・9月に匿名で感謝の手紙が届いた。「知識は人を思い上がらせませんが、愛は人を向上させます」という昔読んだ本の言葉を入れながらの内容となっている。

(2) コロナ対策について

- ・り患者数は児童、職員とも0名である。
- ・豊野小オリジナルの衛生管理マニュアルを作成して取り組んでいる。
- ・下校後の設備の消毒やトイレ掃除等を今はスクールサポートスタッフの方が行っている。
- ・国際総合企画㈱の「こども宇宙プロジェクト 国際宇宙ステーションに子どもたちの夢とスマイルを届けよう」に応募したところ、全国で200校の中に豊野小が選ばれている。内容は、写真でモザイクアートを作って国際宇宙ステーションに持って行くというものである。

(3) GIGAスクール構想への対応について

- ・2月末までに児童の使用する端末の納品と各教室へのWi-Fi等の環境整備が終わる予定となっている。
- ・今後、全教職員による校内研修の実施を予定している。

(4) 地域との連携について

- ・今年度はコロナ禍のため、学校応援団の除草活動や稲作指導などの活動が大幅に縮小又は中止となっている。
- ・例年は地域と合同で行ってる運動会も、今年度は単独開催となった。

(5) 災害時の対応等について

- ・洪水(水害)時の避難計画を策定している。
- ・例年どおり年3回の避難訓練は実施したが、消防訓練では消防団の方には来てもらわずに実施した。

(6) 予算執行状況について

- ・ 配当予算については計画的に執行し、コロナ対策予算では、感染発生時の室内消毒等に使うための防護服を購入している。また、拡大プリンター(約40万円)等の備品も購入している。
- ・ PCR検査キットを配布していただきたいとの要望があった。

加須北中学校 生徒数130人(学級数5学級+特別支援学級数0学級)

(1) 学校概要等

- ・ 生徒数は130人で、市内で一番小さい中学校であり、1年生は2クラスであるが、それ以外は1クラスである。また、来年度の新入生は33人の予定となっている。
- ・ 部活動は他の中学校と合同(野球は騎西中と、サッカーは西中と)でチームを編成し、試合を行っている。
- ・ 教員の人数も少ないことから、何らかの形で全学年の授業に関わっており、全員で生徒の状況について話し合いもできている。

(2) コロナ対策について

- ・ り患者数は児童、職員とも0名である。
- ・ 全生徒へ感染防止対策徹底の指導を行っている。
- ・ 7時50分から8時20分までに登校してくる生徒全員の体調チェックをしている。これは小規模校だからできるという面がある。

(3) GIGAスクール構想への対応について

- ・ 校舎内のWi-Fi、保管充電箱、大型モニターなどの環境整備は終了している。全員分のクロームブックは2月15日に納品予定となっている。
- ・ 小学校から中学校までの9年間を通して端末の管理や使い方の指導がスムーズに行えるよう、大越小と樋遣川小の教務主任を中心に打合せを行っている。また、端末の有効活用に向けた研修を全教員で実施していくこととしている。

(4) 地域との連携について

- ・ 学校応援団は29名登録されており、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、部活動支援ボランティア(サッカー、テニス、バレーボール、バスケット)は行っているが、他は中止となっている。
- ・ 例年ならそば打ち体験の他、校地内の環境整備など協力している。

(5) 災害時の対応等について

- ・市のハザードマップを職員室に常備している。
- ・水害時の一時避難場所になっているが、2階中程までの浸水が想定されることから3階に物資の備蓄をしている。
- ・令和元年の台風第19号の時は一時開設はしたが、すぐに閉鎖となり、また、広域避難を経験した生徒が多数いる。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行しており、1月20日時点で70%以上の執行率となっている。
- ・新型コロナウイルス関連予算については、95%以上の執行率となっている。
- ・老朽化により蛍光灯の器具が順次故障し、修繕費の半分程度が充てられている。

騎西中学校 生徒数522人（学級数15学級+特別支援学級数3学級）

(1) 学校概要等

- ・生徒数は522人で各学年5クラスで、平成2年度の1,014人をピークに減少傾向となっている。
- ・学校経営の基本理念にSSH(スマイル&スイフト&ヘルス 笑顔と素早い対応と健康)を掲げて取り組んでいる。
- ・部活動の指針に基づく活動の徹底を行い、平日も1日休みを設けることになった。
- ・各学年ごとに先生(各担任)がローテーションを組んで5クラスを回りながら道徳の授業を行っており、先生の負担軽減とともに各学年の生徒が5人の先生の道徳の授業を受けられるようにしている。

(2) コロナ対策について

- ・り患者数は児童、職員とも0名である。
- ・保健指導、校内消毒等の徹底をしている。
- ・修学旅行は中止になったが、VR修学旅行(@5,000円で2時間)と校外学習として日光へ日帰りで行ってきた(GoToの対象旅行)。

(3) GIGAスクール構想への対応について

- ・校舎内のWi-Fi、保管充電箱、大型モニターなどの環境整備は終了している。全員分のクロームブックは2月中旬に入る予定となっている。
- ・まずは教職員が使って慣れることが重要となっている。

(4) 地域との連携について

- ・学校応援団は54名登録されている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動は大幅な縮小となっている。

(5) 災害時の対応等について

- ・市作成のハザードマップを職員室に常備している。
- ・年4回の訓練を予定していたが、1月の火災想定避難訓練は中止となった。
- ・水害時避難場所運営班実地研修を実施している。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・新型コロナウイルス関連予算により、マスクやアルコール消毒液のほか、スポットクーラー(体育館で使用)、テント3張、拡大プリンター、シュレッダーなどの備品を購入している。
- ・校舎等の老朽化が進んできていることから、多数の修繕を要する箇所が発生している。